

ニチャン・リンポチエ師

御法話・法要



2015年のネパール地震で全壊したランタン谷の小さなお堂跡。お堂の跡に村人が設置した仏像が、谷の復興を見守っている。
ニチャン・リンポチエ師の生まれ故郷のチベット・キロン地方はここからすぐのところだ。 photo:by K. Shuto 2016,10

◆二月二十二日(金)

第一部 十時～十二時
第二部 十四時～十六時

御法話 シャーンティ・デーヴァ

『入菩薩行論・第四章』

シャーンティ・デーヴァ(685-763)は古代インドの
ナーランダ僧院大学の僧侶であり聖者です。

入菩薩行論はシャーンティ・デーヴァによつて説かれた菩提心の
教えです。わかりやすく言えば優しい心、他者への思いやりの心
ダライ・ラマ法王は「自分に慈悲や菩提道について理解があると
すれば、すべてこのテキストのおかげである。」と言われています。

◆二月二十四日(日)

第一部 九時五十分～十時五十分

ガナ・チャクラ法要

御法話が、問題なく無事終了したことを感謝する法要です。

※御法話と法要は、どなたでも参加できます。

場所 福岡大学セミナーハウス

〒810-0044 福岡県福岡市中央区六本松3丁目4-20

参加費

2月22日 シャーンティ・デーヴァ 午前三千円・午後三千円
2月24日 法要 二千元

ニチャン・リンポチエ師



チベット古訳ニンマ仏教高僧。7歳で出家。チベット国で伝統的
な仏教教育と修行を全う出来た最後の世代。一九七四年ダライ
ラマ法王の要請で来日。高野山大学で教鞭を取られ、以後日本
に滞在。インド・チベット仏教哲学を専門とし、学識豊かなこと
で知られ、求めに応じてチベット仏教の修行、講義、伝授を行う。